

～ もちいどの商店街FM放送店舗PR事業 ～

商店街の中にスタジオを有する地域密着型ミニFMラジオ局と連携し、各個店の魅力や商店街の情報を番組の中で放送。併せて店主の顔写真入りガイドブックを作成するなど情報発信を強化し、認知度の向上を狙った。

所在地：奈良県奈良市餅飯殿町12番地
TEL・FAX：0742-22-2164
URL：<http://www.mochiidono.com/>
組合員数：70名
商店街の類型：地域型商店街

商店街の概要と事業を実施した背景

奈良市の中心市街地に位置する250mのアーケード街で、創業100年を超す老舗も多い歴史のある商店街。食品スーパーの誘致成功によって来街者が増加しつつあるほか、起業家支援のインキュベーション施設の活用等により新規開業者が現われ、商店街全体に活気が出てきた。しかし一方で、長い歴史を有する店舗と新たに開業した店舗とでは経営や商店街活動に対する考えた方が必ずしも同じレベルにあるとは言えないことから、商店街の歴史を再確認できるイベントを行った。また『ならどっとFM』のスタジオが商店街内に開設されたことを機会に情報発信と人と人とのつながりの活性化を図った。

実施した事業の概要

①もちいどの商店街自慢FMPR事業（放送期間は9月、10月）

ラジオ放送に合わせて、店主の顔が見える『商店街ガイドブック』を作成して配布。FM放送では、商店街のサテライトスタジオにおいて店主が出演し、アナウンサーと掛け合いで店舗の紹介や自慢の一品を説明する『もちいどのセンター街魅了発見ツアー』を番組として放送した。FM放送に合わせてガイドブックを配布したことでの相乗効果により情報の浸透度が高まった。実際『ラジオで聞いたで〜』と声をかけてくれるお客さんもおり、放送をきっかけに地域とのコミュニケーションが一段と深まった。



②もちいどの「大紙芝居」

夏の大量出し期間中に、商店街の中ほどにある餅飯殿弁財天に祀られている『理源大師』を主人公とした当商店街の歴史物語を「大紙芝居」劇で披露した。ならどっとFMで紙芝居の案内や特別番組を放送し、広域（放送区域：奈良県北部一帯）へ情報発信した。「大紙芝居」劇はビデオで撮影し、商店街の大型モニターで放映、来街者にも商店街の歴史を再認識して頂くとともに、増加に著しい商店街に対して新規出店者の理解を深めることができた。

成果と成功の要因

FM放送を通じて商店街や個店の情報だけではなく、店主の人柄や商品の詳しい情報等を発信したことにより、これまでより広い地域の人々に街の魅力を知ってもらい、商店街のファンづくりが進んだ。また、地域の人々とのコミュニケーションが図れ、店主も自らの強みを再認識することができた。

もちいどのルーツを綴った紙芝居では、イベントを実施したことにより商店街の新メンバーを含めて組合員間の交流が盛んになり、商店街の結束力の強化につながった。若手が中心となって事業を企画・立案し、推進したことが最大の成功の要因であると考えている。



今後の取り組み

従来から『ならどっとFM』とは協力関係を築いてきたが、商店街への移転後は連携を一層強化しており、今後も協力を得ながらイベントを継続していく。また、奈良市が外国人観光客向けのフリーWifiの設置を計画しているので、これを利用して外国人観光客にも個店の紹介することを検討している。

資金の手当てについては、事業の効率化を図り、やや規模を縮小して運営していく予定である。奈良市からの助成も検討し、事業の維持を図っていきたいと考えている。